

日本家禽学会における研究成果の発表

3月28日に茨城県水戸市で開催された、日本家禽学会2008年度春季大会において、「カニ殻の機能性成分を活用した特色ある鶏卵の生産」と題して、未利用資源であるカニ殻に含まれる機能性成分（キチン・キトサン、アスタキサンチン）を活用した鶏卵生産の可能性について発表しました。

鶏に携わる大学、企業、試験場の研究者に当センターが取り組む先駆的な実用研究をアピールできるよい機会となりました。



発表の様子